〔第四千三百三十三號　(火曜日)　昭和十年五月二十八日　(各自十五錢)　三種郵便物認可〕

新しき變形

島田忠夫

上

最近非常なる活潑さで、童謠詩壇が動いてきてゐるこれをジャアナリストらしく、童謠詩壇の興隆と云つてしまへないまでも、なにか閃かせ、新鮮な詩句を、珠玉のやうに轉ばしてゐたのを感ずることは事實だ。機關雜誌にしても『チチノキ』が久し振で先頃復刊し、つづいて『チクタク』まいの復刊計劃『童魚』の創刊などがつたへられる。これらに據るのは、大体たとへ少時たりとも休息してゐた人々と見てよいが、一方『コドモノクニ』などで絕えず活躍を續けてゐた尊敬すべき少數の人々も混つてゐる。ほかに『アサヒコドモの本』などは、すつと童謠詩壇の爲めに好意ある紙面を割いて貢獻して居たし、『生誕』『早稻田童謠』『童話時代』の如きも、それぞれの分野に貢獻して來たことは隱れない事實であらう

□

『チチノキ』再刊號が、僕に、或ひは變形しつつ成長らの待望してゐたほどの新鮮感をもたらさなかつたのは寂しい。與田準一氏に童謠なく、巽聖歌氏に敬異すべき程の力作がない。叙知主義の主唱者であつたこの秀敏な二詩人が、主知的な作品を見せるのは次號あたりからであらうか『チチノキ』が童謠に叙知の世界をその感に少しも變りはあるまい

□

主知的童謠が童謠詩壇の問題になつたやうに、歌壇の主知的短歌は目ざましく活動した。逗子八郎氏が主宰する『知歌と方法』はその著しい主知主義の運動化であり歌壇的な爲事もはつきりと刻んで來、今も猶つゞけてゐる。逗子氏の主知的短歌論は一方制作上の方法論であり、詩學の構成狀態の改革でもあるのだ。同時に、常に新しいのは逗子氏が提唱を固持する許りに留らずに、實際の制作と共に、實際の制作と共に

猿飛佐助

創作

木津茂太郎

『おーい、おーい!』

さう呼ぶ聲が聞えて來た三好清海入道がしきりに佐助を呼んでゐるのだ

『たーい!佐助よ!』

しばらくして

『兎だア!早く來いよ!』

はゝあ、兎がわなにかゝたのだな、佐助はさう思くと、お隼がいつもと違つた表情で敷居の所に立つてゐた

『なんでござる』

『あの佐助さん』

お隼は佐助の傍に來たが寢てゐる佐助の肩に手を觸れて

『あたし、お別れに來たの!』

佐助は顏を上げた

『えつ!』

『もうた身もすつかりよろしいんですもの、あたし安心して行けるわ。あたし、佐助さんのことは忘れませんよ、忘れる所か、……あたら、佐助さん!待つて下さい』

『何んにも云はないで。——これでた別れよ』

『待つて下さい!!』

お隼は振り向いた。涙でうるんだ眸だつた

『さようなら!』

お隼の姿は母家へ消えた

最後の晩であつた

七

次の朝、佐助と三好は旅に出るのだつた

天は高く青々と晴れてゐた。二人は紅葉した峠に立つた

猿飛佐助は雁坂峠と云ふ名を永久に忘れまいと思つた、その時たつた一人私を命じた

二人の刑事が急いで署を

『アンナは支那の懷劍をもつてゐるだらう』

と訊くと、先には持つてゐた、アンナはそれを陷の形見だと云つて大事にしてゐたと答へた

刑事は、何か書付を渡さり出したものですから私がカツとのぼせ上つてしまつれて出て行つた

青山謙を留置場から引出

刑事が八方へ飛んで調べ上げたのはアンナの經歷だつた

それに依ると、彼女は上海で日本人の母と、支那人の父、その間に生れた混血兒で、十六の年に母に連れられて横濱へ來た

それから二年目、十八の春、母に死なれて孤兒となり、生活に困つて闇の女となつて橫濱の夜の街をさまよつた

ダンサーとなつて東京へ出たのは昨年の春だつた。現在はアパートに(二日前から)平泉と同棲してゐた

橫濱時代の生活も詳しく調べあげられたが、それによつて當時は謙公ともいゝ仲だつたといふことがわかつた

誰が殺したか

(28)

國枝史郎作

龍造寺膳齋

第一の殺人(二十八)

『お前はなぜアンナにおどりかゝつたとしたか』

關屋警部補が、鉛筆の先で定吉の鼻をさした

『何故だかよくわかりません、別にどういふつもりもなかつたのです、多分私があの踊りが嫌だつたからでせう』

『踊りといふのは何だ』

『支那劍舞です』

『支那劍舞?アンナは支那劍舞を踊つたのかい』

『使所から出て廊下でちよつと踊つたのです』

『お前はどうしてそれが支那の劍舞だといふことを知つてゐたか』

『私が九ツの年でした、奉公先の主人はひどい男で私を支那の曲藝團へ賣つたのです、私は支那の少年に仕立られ、十二の年まで曲藝團四國と一緒に方々を廻つて歩いたのです、曲藝を仕こまれて、刑事に向ひ別なことをたのです』

警部補はそれをきくと、

『戀の惡がある』

『人生はばかないもんだな』

佐助は三好に云つた

『なんでござる』

すると、三好清海入道はゝゐみながら答へた

『昔から戀ははかないと云ふぢやないか。黒田や德川の狸親爺の家來よりお隼ちやんは惡の者であつたなア』

佐助は歩き出した

三好はさもおかしさうに笑つた。が佐助は面白くなかつたのである(をはり)

◎—○—◎—○—◎

夜

春岡芳雄

月の出です

澄んだ空をのぼつてゆく

月

窓によつた小さな子等は

手々を合して

のゝ樣とおがんでます

若い母の美しいはゝえみ

月の出です

スイ〳〵とのぼつてゆく

月です

初夏郊外

珠雲小野務平

幽窗候霖幾朝昏

一日偸閒出草門

滿目青々新樹淨

打田人點數家村

平俳黎會

大和田水明報

春曉や松みどりなる御社

燕子

燃猫や主居ぬ爐邊のトロ〳〵火

燃猫のあるひは高く鳴きにけり

花堂

猫の妻啼きつゝ門を出でにけり

妻病みていたくうるさきや猫の戀

枯萍

高々と村の火の見や春の曉

日傘とパラソル

明朗な新感覺を盛り上げた自然美パラソルの華……當に流行の先驅……弊店の豪華版!——全店豊富陳列——

中野洋品店

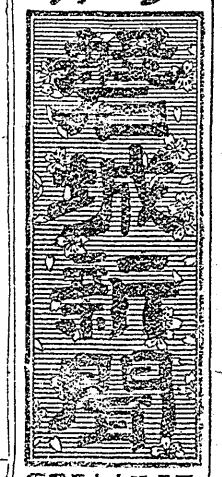
平二・電五三

廣告

日・月

五月二十七日發行

日曜祭日翌日休刊



定價一ヶ月金八錢(送料共)
廣告料金六錢
五十行一回
(定期契約)
編輯兼發行人 木村一治
印刷人 木村一治
印刷所 磐城新聞社
發行所 磐城新聞社

ツユの日

○

けふは海軍記念日——その三十周年と共に、非常時意識を新たにしませう。

平　二

小說

御參詣團体募集

一、柳津虛空藏尊

(猪苗代湖=白虎隊廻り、自動車貸往復)

御一名樣金二圓也

申込締切五月三十一日、出發六月一日午前四時

二、成田山

(宗吾樣=笠間稻荷廻り、自動車貸往復)

御一名樣金二圓五十錢

申込締切六月三日、出發六月四日午前三時

三、日光

(笠間稻荷廻り、御一名樣自動車貸往復金二圓卅錢)

申込締切六日五日、出發六月七日午前一時

定員は各車共二十二名

定員未滿ノ節ハ勝手乍ラ延期致ス事モアリマス

尙御希望ニ依リ各種團体モ御相談ニ應ジマス

主催　尼子遊覽部

電六四〇番

新車御披露

素晴しい乘心地の!

三十五年式流線型新車が參りました。

是非御試乘御利用の程を御願申します。

平　二

三井タクシー

電話六八五番

拜啓　新線の候御尊家愈々御清福之段奉欣賀候

小店儀三丁目北通に於てマルキヨウ共榮漆器店の名儀にて拾餘年間營業致し居り候處各位の絕大なる御愛顧御引立により御陸を以て逐日業務進展の域に赴き候爲甚しく店舖の狹隘と不便とを感じ居候處、今回本通り二丁目十六番地に移轉致し屋號も此際近江屋と改稱仕り誠實勉强親切第一主義を一層徹底せしめ度存じ居り候へば偏に渝らざる御眷顧相仰ぎ度此段移轉改名の御挨拶旁々平素の御引立を謝し尙今後の御指導御鞭撻を御願申上候

敬具

昭和十年五月

舊名マルキヨウ共榮漆器店

改

各國產漆器
簞笥指物類
家具雜貨商
卸商

福島縣平町二丁目

近江屋

店主　橫幕仁三郎

神佛具一式
文具裁縫具

電話七一一番

初夏の洋服賣出し

爽やかな初夏の御召料に內外の新製優秀生地のポーラ帶廣が取揃へました

特價品

(鼠セル單折襟上下　八圓より
シルクポーラ單折袷上下　九圓五十錢より
上等シルクポーラ三ツ組　十五圓より)

◎中、商學校の國防色制服を取揃へました。

國防色制服上下(六號—三圓、七號—三圓十五錢、八號—三圓二十錢

黒ギャバ三圓より、昭和セル上下三圓より

中學上等霜降小倉上下二圓二十錢より

(初夏向きの變色折襟上衣、又實用向き上衣澤山取揃へました……)

外に霜降、小倉服、又男女小供服が澤山取揃へて有りますから散歩がてら一度信用堂洋服店へ御立寄り下さい……

信用堂洋服店

平町三丁目一〇

前田醫院

院長　前田清美

植田町電話一二四

特約店

桑原商店

平町ネヅミ坂角

天下一品散

平町ネヅミ坂角

下痢病妙藥ヲ御紹介致シマス

小兒科……

平町南町五〇番地

志賀醫院

(入院應需)

電話一六二番

自慢の

コロッケ…六ツ金十錢、カツレツ…壹ケ金十錢、ラウド…四合壜金二十八錢、同…二合壜金十八錢

豚、牛、鳥肉は年中あります。

平町一丁目元のんきや靴店跡

武田肉店

耳鼻咽喉科專門

平町田町(電六九一)

病室完備

自炊ノ便アリ

山內醫院

醫學士　山內亨吉

精神病科
腦脊髓病科
神經病科

郡山驛より約三十丁
安積中學より約五丁

郡山腦病院

電話九二五番

院長
醫學士　金森五郎

郡山市外大槻村針生

入院隨時

◎優良投資株式賣出

商號　宮國鑛業株式會社

本社　東京市京橋區東京ビル五階

電話(三七三九・四四三五・六三八〇)

資本金　壹百萬圓

鑛種　金銀、銅、鉛、ニツケル鑛

鑛區　田村郡飯豐村、御舘村外數村

精錬　白金、ニツケルノ檢出精錬

特色　嘗テ各新聞紙上ニ於テ發表サレ既ニ御承知ノ通リ本縣石川中學敎諭宮谷氏ノ獻身的研鑽ニヨリ從來不可能視セラレタル最難基性岩石ヨリ白金、ニツケルノ檢出精錬ニ成功シ我國化學工業軍需工業ニ一新紀元ヲ劃シ各方面ヨリ期待セラレ最近社會狀勢ニ乘ジ順ニ進展セル有望事業ナリ

尙ホニツケルニ對シテハ軍需工業助成ノ爲メ國庫補助ヲ交附サル、ニ確定シ既ニ官報ニ發表セラレタリ

右一株額面金二十圓全額拂込濟株式ヲ特價ニテ提供致シマス、御報次第參上パンフレット進呈

取扱店　大福湯本證券合資會社

湯本町驛前　電話六十七番

仝出張所

平町大町大通り三共商事合資會社

電話三六〇番

月曜論壇

故吉田氏を偲ぶ

第三周忌に臨んで

平町に於ける本年度分縣稅特別稅戶數割の賦課査定は近く認かるべき町會に附議さるべく、而もその決定は、既に各委員が全心血を傾注して攻究大に勗め更に全員委員によつて愼重檢討を重ねらるる結果、他迄その公平適正なるべきを信ずるものであるが、其れにつけても憶ひ出さるゝは今は亡き吉田磯次郎町議が、最年戶數割賦課の過當を提げ各議員が呆氣にとられてゐる裡に豊夜兼行以て町當局及各議員をして首肯せしむるに足る大原案を作り上げ之を實行するに至つた一事である、由來確固たる信念無き附和雷同は極めて易く大丈夫の所謂直くんば百萬人と雖も我れ行かんの概に起つは人生難事中の難事であらねばならない、尙は氏が所信の前には如何に何物をも憚れなかつたかは、彼の明治四十年の初夏、現在の鎌田遊廓設置問題が町會に諮問案として提出さるるや、敢然起つて全議員に抗し、江原素六、島田沼南、石川半山等の中央諸名士應援の下に堂々皷をならしゝの如き不惜身命の反對運動に出でたに徹しても蓋し瞭かなるものがある、尤もこの遊廓問題は人々の人生觀と社會觀との相違があり且つ右設置後に於ける景氣の動き乃至公娼以外に發生した白色奴隷の現況から觀て一がいに當時の先見に脫帽を強ゆるものでは無いが氏の從容抱懷した何物の權威を以てしても抔ぐる事の出來ぬ牢乎たる信念と氣慨とは凡人の容易に企て及ばざる處として、今日尙ほ之を追慕し衷心遠く泉下に敬意を表せんとするものである男子たるもの笑んぞ芳躅を貞珉に錄さゝゝの人生を營まで可なるものぞ、昨二十五日行はれたる故人の第三周忌に臨み、一瓣の香を献するに方り、この感一入痛切なるものがあり、現在の平町に吉田町議第二世の出現を望む所以である

世界一の實戰を聽く

けふの海軍記念日に平軍人分會が

非常時意識強調の催し

藤　中井川　加藤　高橋公像を禮拜、遠藤校長の講話（八〇〇リレー）大谷　坂話後、唱遊、朗讀、活人畫田二毛作は今や縣下最良とから松ケ岡忠魂碑前で遙拜式を擧行後春木亭で簡素な祝宴を張り、尙同分會海軍部では終了後日本海々戰從軍者の公平適正なるべきを信ずるものであるが、其れにつけても憶ひ出さるゝは今は亡き吉田磯次郎町議が、最年戶數割賦課の過當を提げ各議員が呆氣にとられてゐる裡に豊夜兼行以て町當局及各議員をして首肯せしむるに足る大原案を作り上げ之を實行するに至つた一事である、由來確固たる信念無き附和雷同は極めて易く大丈夫の所謂直くんば百萬人と雖も我れ行かんの概に起つは人生難事中の難事であらねばならない、尙は氏が所信の前には如何に何物をも憚れなかつたかは、彼の明治四十年の初夏、現在の鎌田遊廓設置問題が町會に諮問案として提出さるるや、敢然起つて全議員に抗し、江原素六、島田沼南、石川半山等の中央諸名士應援の下に堂々皷をならしゝの如き不惜身命の反對運動に出でたに徹しても蓋し瞭かなるものがある、尤もこの遊廓問題は人々の人生觀と社會觀との相違があり且つ右設置後に於ける景氣の動き乃至公娼以外に發生した白色奴隷の現況から觀て一がいに當時の先見に脫帽を強ゆるものでは無いが氏の從容抱懷した何物の權威を以てしても抔ぐる事の出來ぬ牢乎たる信念と氣慨とは凡人の容易に企て及ばざる處として、今日尙ほ之を追慕し衷心遠く泉下に敬意を表せんとするものである男子たるもの笑んぞ芳躅を貞珉に錄さゝゝの人生を營まで可なるものぞ、昨二十五日行はれたる故人の第三周忌に臨み、一瓣の香を献するに方り、この感一入痛切なるものがあり、現在の平町に吉田町議第二世の出現を望む所以である

各學校行事

平町三小學校及び平商校で

平町三小學校及び平商校では國旗及びZ信號旗を各揭げ訓話を行つた外各校別左の如く記念行事を行つた

△第一―校庭に於て各學級別に体操演習會

△第二―同校小川村關場（八〇〇リレー）大谷　坂から松ケ岡忠魂碑前で遙拜式を擧行後春木亭で簡素な祝宴を張り、尙同分會海軍部では終了後日本海々戰從軍者の公平適正なるべきを信ずるものであるが、其れにつけても憶ひ出さるゝは今は亡き吉田磯次郎町議が、最年戶數割賦課の過當を提げ各議員が呆氣にとられてゐる裡に豊夜兼行以て町當局及各議員をして首肯せしむるに足る大原案を作り上げ之を實行するに至つた一事である、由來確固たる信念無き附和雷同は極めて易く大丈夫の所謂直くんば百萬人と雖も我れ行かんの概に起つは人生難事中の難事であらねばならない、尙は氏が所信の前には如何に何物をも憚れなかつたかは、彼の明治四十年の初夏、現在の鎌田遊廓設置問題が町會に諮問案として提出さるるや、敢然起つて全議員に抗し、江原素六、島田沼南、石川半山等の中央諸名士應援の下に堂々皷をならしゝの如き不惜身命の反對運動に出でたに徹しても蓋し瞭かなるものがある、尤もこの遊廓問題は人々の人生觀と社會觀との相違があり且つ右設置後に於ける景氣の動き乃至公娼以外に發生した白色奴隷の現況から觀て一がいに當時の先見に脫帽を強ゆるものでは無いが氏の從容抱懷した何物の權威を以てしても抔ぐる事の出來ぬ牢乎たる信念と氣慨とは凡人の容易に企て及ばざる處として、今日尙ほ之を追慕し衷心遠く泉下に敬意を表せんとするものである男子たるもの笑んぞ芳躅を貞珉に錄さゝゝの人生を營まで可なるものぞ、昨二十五日行はれたる故人の第三周忌に臨み、一瓣の香を献するに方り、この感一入痛切なるものがあり、現在の平町に吉田町議第二世の出現を望む所以である

平町三小學校及び平商校で

平町三小學校及び平商校では國旗及びZ信號旗を各揭げ訓話を行つた外各校別左の如く記念行事を行つた

△第一―校庭に於て各學級別に体操演習會

△第二―同校小川村關場（八〇〇リレー）大谷　坂から松ケ岡忠魂碑前で遙拜式を擧行後春木亭で簡素な祝宴を張り、尙同分會海軍部では終了後日本海々戰從軍者の公平適正なるべきを信ずるものであるが、其れにつけても憶ひ出さるゝは今は亡き吉田磯次郎町議が、最年戶數割賦課の過當を提げ各議員が呆氣にとられてゐる裡に豊夜兼行以て町當局及各議員をして首肯せしむるに足る大原案を作り上げ之を實行するに至つた一事である、由來確固たる信念無き附和雷同は極めて易く大丈夫の所謂直くんば百萬人と雖も我れ行かんの概に起つは人生難事中の難事であらねばならない、尙は氏が所信の前には如何に何物をも憚れなかつたかは、彼の明治四十年の初夏、現在の鎌田遊廓設置問題が町會に諮問案として提出さるるや、敢然起つて全議員に抗し、江原素六、島田沼南、石川半山等の中央諸名士應援の下に堂々皷をならしゝの如き不惜身命の反對運動に出でたに徹しても蓋し瞭かなるものがある、尤もこの遊廓問題は人々の人生觀と社會觀との相違があり且つ右設置後に於ける景氣の動き乃至公娼以外に發生した白色奴隷の現況から觀て一がいに當時の先見に脫帽を強ゆるものでは無いが氏の從容抱懷した何物の權威を以てしても抔ぐる事の出來ぬ牢乎たる信念と氣慨とは凡人の容易に企て及ばざる處として、今日尙ほ之を追慕し衷心遠く泉下に敬意を表せんとするものである男子たるもの笑んぞ芳躅を貞珉に錄さゝゝの人生を營まで可なるものぞ、昨二十五日行はれたる故人の第三周忌に臨み、一瓣の香を献するに方り、この感一入痛切なるものがあり、現在の平町に吉田町議第二世の出現を望む所以である

小名濱

植松少將講演

小名濱町では昨二十六日晨慕歸省した上海陸戰隊の猛將海軍少將植松練馬氏（相馬郡出身、安積中學卒）を同町小學校に招き時局講演を

名士の滯は血

在鄉軍人平分會では午後零時半から松ケ岡忠魂碑前で遙拜式を擧行後春木亭で簡素な祝宴を張り、尙同分會海軍部では終了後日本海々戰從軍者の公平適正なるべきを信ずるものであるが、其れにつけても憶ひ出さるゝは今は亡き吉田磯次郎町議が、最年戶數割賦課の過當を提げ各議員が呆氣にとられてゐる裡に豊夜兼行以て町當局及各議員をして首肯せしむるに足る大原案を作り上げ之を實行するに至つた一事である、由來確固たる信念無き附和雷同は極めて易く大丈夫の所謂直くんば百萬人と雖も我れ行かんの概に起つは人生難事中の難事であらねばならない、尙は氏が所信の前には如何に何物をも憚れなかつたかは、彼の明治四十年の初夏、現在の鎌田遊廓設置問題が町會に諮問案として提出さるるや、敢然起つて全議員に抗し、江原素六、島田沼南、石川半山等の中央諸名士應援の下に堂々皷をならしゝの如き不惜身命の反對運動に出でたに徹しても蓋し瞭かなるものがある、尤もこの遊廓問題は人々の人生觀と社會觀との相違があり且つ右設置後に於ける景氣の動き乃至公娼以外に發生した白色奴隷の現況から觀て一がいに當時の先見に脫帽を強ゆるものでは無いが氏の從容抱懷した何物の權威を以てしても抔ぐる事の出來ぬ牢乎たる信念と氣慨とは凡人の容易に企て及ばざる處として、今日尙ほ之を追慕し衷心遠く泉下に敬意を表せんとするものである男子たるもの笑んぞ芳躅を貞珉に錄さゝゝの人生を營まで可なるものぞ、昨二十五日行はれたる故人の第三周忌に臨み、一瓣の香を献するに方り、この感一入痛切なるものがあり、現在の平町に吉田町議第二世の出現を望む所以である

各必勝を期す

磐炭入山の兩雄

來月二日第一回陸上競技

磐城、入山兩炭鑛對抗第一回陸上競技會は來月二日の公休を卜し正午から入山グラウンドに於て開催するがメンバー次の如くである

△入山（一〇〇米）西田　柏原　志賀　增子　菅野　荒川（四〇〇）野木　江川　高橋　田村　淺川　川崎（一、五〇〇）佐藤　遠藤　田村　石田　淺川　菜畑（五、〇〇〇）遠藤　上田　清水　佐藤　馬上　江幡（三段跳）江幡　綿貫　中山　小關　西田　富澤（幅跳）中山　西田　小關　富澤　綿貫　吉田（砲丸投）遠藤　江幡　加藤　遠藤　高橋　鈴木（圓盤投）同上（高跳）綿貫　富澤　青野　藥館　佐藤（リレー）小關　江川　西川　高橋　柏原　志賀　浦田　富澤

△磐炭（一〇〇）宇野　中井川　加藤　瀧口　阿部　瀧口　大平（四〇〇）坂本　瀧口　大谷　加藤　遠藤　小口（一、五〇〇）小板橋　池　佐藤　猪狩　鈴木　大谷（五、〇〇〇）佐藤　工藤　關場　小板橋　佐久間　小池（走巾跳）高橋　中井川　瀧口　金成　坂本（巾高跳）井澤　高橋　金成　加藤　石川　佐分利（三段跳）金成　高橋　中井川　石川　小池　宇野（圓盤投）中井　加藤　高橋　大谷　坂本　伊藤（砲丸投）伊藤　高久

地方農村も之で助かる

―春繭の飛躍的高値豫想から―

桑葉も昨年の三四倍に騰貴

地方に漂ふ養蠶景氣

平町關係

入營日割

平町左記十君は夫々頭書日時に入營する

五月三十一日午前七時三十二分（横須賀海兵團長河口より約十萬尾を捕獲し橋町機關兵田久男、四丁目水兵松崎三郎、二丁目荷路夫、四時の各川に放流うと素晴らしい鼻息である

幼妹を背負つた儘

濁流から救ひ上ぐ

勇敢な十三歳の少女

鹿島村大字飯田字腰卷吟哉長女稻沼千鶴子（三）さんはや溺死せんとしてゐる同川に轉落、あは昨二十六日午前十時半頃妹の勝子さん（三）をおんぶして同村矢田川附近を通行中同村政助六男小泉光男（三）さんが數日前の降雨で增水事に氣附かず誤つて

新綠薫風の高月台上

躍る千二百の磐中健兒

異彩を放つた戰鬪教練

昨日盛況裡に行はれた大運動會中

國中學校模範大運動會を催擧行中列强の軍勢を一目瞭然たらしむる印刷物を撒歩して一層意義あらしめた

北軍某國兵團は南軍某國兵團に對し五月中旬來高月台――城山の線に堅固なる陣地構築中なりしが南軍兵團は今朝霞を衝いて空輸小名濱海岸に着陸

平でも四十圓台豫想

最盛期は來月中旬

今から素晴らしい鼻息

平町の取引は南町の木村商は十六日頃であると云ふ、昨年の御祝儀相場は二十二四倉市場より五、六日早く圓と云ふ悲慘なものであつ今年も來月十日頃から非たが、今年は此の調子だとさんが數日前の降雨で增水點を否認してゐるので目下、白水檢事關與公判開廷求刑遏り像役四年を卽決言渡された

失火　大野村大字玉山牧の下無職長谷川マサノ（三〇）は去月二十三日夜發財の虫齒を鎭めるためブラ提灯を提げ中二階に梅干を取りに行き桁に掛けたまゝ提灯を忘れたゝめ夜九時四十分頃發火、同家の外數棟を燒いた廉で。又湯本町笠井無職鈴木ヨシイ（三五）は去月八日自家勝手の爐に杉木を焚いたまゝ不注意にも三十分以上も一家不在したゝめ午前十時頃發火、長家の內四軒を燒き、何れも此程平區より只飲みルンペン。昨二十六日午後七時頃平町南町飲食店常陸屋方でしたゝか飲酒した揚句家人のすきを見て逃走したルンペン風の中年男を折から密行中の平署から戰病歿者の軍人遺族並町扇柳二〇生れのルンペン前科一犯坂本眞一郎（三五）て各地を荒し廻つてゐる常習男と見て目下取調中

巷の埃

先頃の全國中等校長會議に出席した小檜山磐中校長、終つて横濱大博を見物中ボンボン揚る花火の揚り具合に氣附き、何れも此程平區より只飲みルンペン。昨二十六日午後七時頃平町南町飲食店常陸屋方でしたゝか飲酒した揚句家人のすきを見て逃走したルンペン風の中年男を折から密行中の平署から戰病歿者の軍人遺族並町扇柳二〇生れのルンペン前科一犯坂本眞一郎（三五）て各地を荒し廻つてゐる常習男と見て目下取調中

燒芋屋から轉向

―平署へ出願既に百五十件

金魚賣子の聲も涼しくそろ〳〵水戀しいシーズンが近極めて優秀で同地方は鮎の棲息に最も適してゐると中込み危い處を救助したので平署から同人の表彰方を知

平驛一再勝

呼び物の八百繼走

右運動會中の呼び物郡下小學兒童八百米繼走は左の如く平第一校が再勝、タイムも昨年の二分八秒六に對し

機關兵軍野菊雄）同日午前八時二十分（十五丁目川町星和一、胡摩澤菊地二十三日來白銀町水戶屋旅田虎孝）六月一日午前九時（朝鮮羅南步兵第七十三聯隊）四丁目佐藤甲二郎、月見町百十勝白、新旭川市笠間徹夫（三七）と去る何れも略式罰金二十圓を

五月の句

御覽品賣出し

幟形具幟鯉
敷人道
座種ソ布
各陣

各種新形裝當に陳列致しました。
一度は御來店の上御覽下さい。

平町四丁目
スガノヤ提灯店
電話九五番

五月人形

特價賣出し

御座敷幟
武者人形
御陣道具
布鯉類

平町三丁目
金太郎玩具店

國は日本。凍魚はヒノマル

ヒノ◎マル
凍魚

日本水產一手特約
發賣元
平製氷株式會社
電話二二八番
平町代理店
印魚問屋
電話五二八番

鯛。海老。白魚。イカ
刺身魚、煮魚、各種品々一個一尾ニテモ迅速配達……